

令和元年度

大阪教育ゆめ基金 関連事業一覧



大阪府教育庁

大阪教育ゆめ基金について

大阪府では、大阪の子どもたちの「学び」と「はぐくみ」を支えるため、平成20年12月に「大阪教育ゆめ基金」を設置し、子どもたちの学力を向上させる取組みや、子どもたちの豊かな心をはぐくむための取組みなどに活用しています。

基金積立の財源について

大阪教育ゆめ基金は、広く府内外の個人や企業の皆様からご寄附を賜り、多くの方々のご協力によって支えられる基金となっています。

寄附実績（令和2年7月31日現在）

615件 386,923,553円

基金活用事業について

令和元年度は、皆様から頂いたご寄附を以下の事業に活用しました。

スポーツ指導・体力向上支援推進事業	3
子どもの体力づくりサポート事業	4
広報強化推進事業	5
愛さつ OSAKA 展開事業（こころの再生府民運動）	6
子ども読書活動環境整備事業	7
家庭教育力向上事業費	8
英語教育推進事業	9
スクール・エンパワーメント推進事業	10
全国中学校体育大会開催事業	11
特別の教育課程による日本語指導推進事業	12
学校安全対策事業	13
門真スポーツセンター空調自動制御設備改修工事	14

1	スポーツ指導・体力向上支援推進事業	事業費：172万円 (基金活用額：172万円)
---	-------------------	--------------------------------

大阪の子どもたち（小学生）の心身の健やかな成長や体力の向上、運動習慣の定着を図るためスポーツ大会を開催しました。

○ オリンピアン・パラリンピアンによるスポーツ教室（令和元年8月）

開催実績 参加者 約130名

○ トップアスリートによるスポーツ教室（出張編）

※市町村が実施するイベント等にトップアスリートを府から派遣する取組み

開催実績 箕面市：卓球 大東市：バドミントン 泉大津市：卓球

○ EKIDEN（駅伝）大会（令和2年2月）

開催実績 参加者 55チーム 約600名



オリンピック・パラリンピアンによる
スポーツ教室の様子



トップアスリートによるスポーツ教室（出張編）
の様子



EKIDEN大会の様子

2	子どもの体力づくりサポート事業	事業費：42万円 (基金活用額：42万円)
---	-----------------	--------------------------

市町村教育委員会と連携し各実践校において、専門的な技術指導力を備えたプロスポーツ団体等外部指導者が児童に直接実技指導を行ったり、教員研修として教員に指導したりしました。(実践校7校)



外部指導者による体育の授業の指導の様子

体育の各運動領域において主となる運動につながる動きと、「実践事例集」の具体例とを関連付ける授業の指導法を解説した「簡単プログラム」を作成し、府内小学校全教員に配付しました。また、「簡単プログラム活用実技研修会」を教員および市町村指導主事等を対象に3回実施しました。



簡単プログラム活用実技研修会の様子

3	広報強化推進事業	事業費：1,444万円 (基金活用額：1,237万円)
---	----------	--------------------------------

中学生や保護者の方々に、大阪府内の公立高校の魅力と進路選択の際に必要な情報をお伝えするため、令和元年7月に「大阪府公立高校進学フェア2020」を開催し、過去最高の延べ29,600人もの方々にご来場いただきました。

学校別ブースでの進学ガイダンスのほか、府教育庁による入学者選抜制度の説明やエンパワメントスクールなどを紹介しました。



進学フェアの様子

4	愛さつ OSAKA 展開事業 (こころの再生府民運動)	事業費：486 万円 (基金活用額：486 万円)
---	---------------------------------------	-------------------------------------

府内の府立学校や私立学校・市町村小中学校で実施する「あいさつ運動」では、のぼりを立て、啓発ティッシュ等を配布しながら、地域や保護者の方にあいさつの大切さを呼びかけ、「こころの再生」府民運動の広報・啓発を行っています。

この「あいさつ運動」で使用するのぼり、ポール、啓発用ティッシュを作成したほか、地域の方々により広くこの活動を知っていただくために、ビブス（衣服の上から着用するメッシュ地のベスト）を作成し、あいさつ運動の際に着用していただいています。



5	子ども読書活動環境整備事業	事業費：57万円 (基金活用額：57万円)
---	---------------	--------------------------

子どもたちが本に親しむきっかけを作るとともに、作家との交流を通じてより深く読書に興味・関心を高めることを目的とし、作家が学校園を訪問し、子どもたちに対してワークショップやお話を行うオーサービジット事業を、OSAKA PAGE ONE キャンペーン推進会議メンバーご協力のもと、府内8校園で実施しました。

また、読書から遠ざかりがちな中高生に対して、魅力的な本と出合う機会の拡大を目的とし、子どもどうしがゲーム感覚でおすすめの本を紹介しあうビブリオバトル（書評合戦）について、教員・図書館職員向け研修を実施し、学校や図書館へ普及を図るとともに、中高生の発表の場として、大阪府中高生ビブリオバトル大会を開催しました。





ページワン これから始まる **読書の日**
 第1土・日は本屋と図書館に行こう！
OSAKA PAGE ONE キャンペーン推進会議

6	家庭教育力向上事業費	事業費：68万円 (基金活用額：46万円)
---	------------	------------------------------

子どもの「未来に向かう力（非認知能力）※」育成に向け、その土台形成となる乳幼児のいる家庭の教育力の向上を図るため、市町村での講座や研修を行う人材を育成するとともに、啓発のための資料を作成しました。

人材育成では、「未来に向かう力」の育成に向けた家庭教育の支援に関する研修を行い、のべ1,409人の参加がありました。

啓発資料として、啓発リーフレット『乳幼児期に育みたい！未来に向かう力』と、親学習教材3種類を作成しました。

※ 未来に向かう力（非認知能力）：「目標に向かってがんばる力」「気持ちをコントロールする力」「人と関わる力」など、自分や他者と折り合いをつける力。乳幼児期にその核となる部分が形成され、認知能力とともに、子どもの将来にとって大切な力。



研修の様子



リーフレット



親学習教材

7	英語教育推進事業	事業費：958 万円 （基金活用額：751 万円）
---	----------	------------------------------

グローバル化や内なる国際化が進む社会において、府立高校の生徒すべてが英語を話す（即興的な応答する）力を高めることで、4技能をバランスよく身に付け、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度が向上し、国内外で異なる文化を持つ人たちとともにより良い社会を作る担い手になることを目的に以下の取組みを行いました。

○国内において、イングリッシュキャンプを開催。

○府立高校が実施する海外研修への支援。

○在籍校にかかわらず、意欲のある生徒が海外研修に参加できるよう、教育庁主催海外研修を実施。



8	スクール・エンパワーメント推進事業	事業費：36万円 (基金活用額：36万円)
---	-------------------	------------------------------

府内の小・中学校における一層の学力向上を目的に、保護者・地域等と連携しながら学力向上に積極的に取り組む学校を推進校に指定しています。平成25年度から平成28年度までは84中学校、平成29年度は、120小学校、64中学校、平成30年度は82小学校、41中学校を推進校に指定し、スクール・エンパワーメント担当教員を位置づけ、取組みを進めてきました。平成31年(令和元)年度は、84小学校、41中学校を指定し、市町村・学校の課題に正対した取組みや学校図書館活用による取組みなどを進めています。

推進校に対しては、府教育庁と市町村教育委員会が連携しながら、学校の取組みに対する助言を行うことで市町村全体の学力向上に向けた支援を行いました。

推進校の優れた取組みについては、フォーラムなどで報告していただき、府内の小・中学校に広く普及しました。

9	全国中学校体育大会開催事業	事業費：957万円 （基金活用額：563万円）
---	---------------	----------------------------

子どもたち（中学生）の心身の健やかな成長や体力の向上を図るため

「君の夢 かなえる場所が ^{ここ}近畿にある」をスローガンに陸上競技と剣道の
令和元年度全国中学校体育大会を開催しました。

○令和元年度全国中学校体育大会

第46回全日本中学校陸上競技選手権大会（令和元年8月）

開催実績 参加者 約1850名

○令和元年度全国中学校体育大会

第49回全国中学校剣道大会（令和元年8月）

開催実績 参加者 約770名



10	特別の教育課程による日本語指導推進事業	事業費：1,046万円 (基金活用額：707万円)
----	---------------------	------------------------------

「特別の教育課程」による日本語指導は、日本語指導が必要な児童生徒を、在籍学級以外の教室で個別に日本語の学習を進めるものです。特別の教育課程による日本語指導推進事業では、校長 0B である、4 人の日本語指導スーパーバイザーが府内の小中学校を訪問し、日本語指導を進めるための学校体制づくりのアドバイスや個別の指導計画作成の支援、個に応じた適切な教材の提供、日本語能力測定支援など日本語指導のノウハウを伝え、「特別の教育課程」がより効果的に実施できるよう支援してきました。その結果、本事業が実施された平成 31 年度当初の大阪府域（中核市除く）の「特別の教育課程」による日本語指導実施率は 78.9%でしたが、年度終わりの実施率は 91.8%に向上しました。これにより、多くの子どもたちが計画的に日本語指導を受けられるようになってきています。

11	学校安全対策事業	事業費：356万円 (基金活用額：356万円)
----	----------	----------------------------

児童生徒等に事故が発生した場合の救急救命に役立てるため、府立学校に
 配備しているAEDのうち耐用年数が到来する機器の更新及び配備されてい
 ない学校に対して配備を行いました。(計45校)



設置の様子

12	門真スポーツセンター 空調自動制御設備改修工事	事業費：6,012万円 (基金活用額：1,792万円)
----	----------------------------	--------------------------------

府立門真スポーツセンターの空調自動制御設備の改修工事を行いました。



メインアリーナ利用の様子



寄附金の申込み・納付方法

- ご寄附いただける場合、下記の3種類がございます。

郵送等での申込み

郵便、ファックス又は電子メールのいずれかの方法によりお申込みできます。

受付後、「納付書」等を送付いたしますので、大阪府の公金取扱金融機関の窓口でご入金いただけます。

電子申請による申込み

大阪府インターネット申請・申込サービスにてお申込みできます。

受付後、「納付書」等を送付いたしますので、大阪府の公金取扱金融機関の窓口でご入金いただけます。

電子申請による申込み(クレジットカード納付)

大阪府インターネット申請・申込サービスにてお申込みできます。

VISA、Master、JCB がご利用いただけます。

詳しくは大阪府ホームページ「Loving OSAKA [ラビング オオサカ] 納税(ふるさと納税)寄附のお申込み方法」をご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/toshimiryoku/furusato-nozei/kifugoannai.html>



大阪教育ゆめ基金に関する問合せ先

大阪府教育庁 教育総務企画課

Tel : 06-6944-6049

Fax : 06-6944-6884

E-mail : kyoisomu-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp